



かぜくも

いわき支援学校

地域支援センター通信 No. 22

R3. 7. 19発行

「地域を支えるセンターとして」

～ 特別支援学校ができること ～



いわき支援学校長 曾川 孝規

日頃より、本校及び当センターの取組に対しましてご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。さて、県内すべての特別支援学校に地域支援センターが設置されて、4年目を迎えます。センターとしての主な役割は、発達に心配のある子どもたちと保護者への支援、また子どもたちの指導、支援にあたる各小中・高等学校等の先生方への情報提供や研修支援、そして、地域における相談支援の強化と構築に向けた体制づくりとなっています。

本校は、今年度で38年目を迎え、これまでたくさん子どもたちや保護者と一緒に自立と社会参加に向けた教育活動の充実に取り組んできました。その一つ一つの取組の中で、子供たちの思いや困っている様子などたくさん子どもたちを支える理解の仕方や支援の方法について、子どもたちや保護者と一緒に学んできました。また、学校だけでは支援が深まらない状況の中でも、地域の保健・福祉、医療の関係者の方々と連携を通じた支援に取り組んでおります。

今後とも、地域の子どもたちの豊かな成長を支える特別支援学校として、専門性を生かしながら取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。



地域支援センター・・・
こんなことやってます♪

出かける支援を通して「一人一人の輝きを見つける」



いわき支援学校 地域支援センター主任兼コーディネーター 古川 英樹



保育園、幼稚園、小・中学校等からの派遣を要請に応じて訪問して支援する「出かける支援」を本校地域支援センターが行っており、それに寄せられる期待は年々高まっています。

特別支援教育の考え方が広まり、訪問先のほとんどが適切な支援について動き出しています。しかし、「必要な支援とは思いつつも、現状の環境で個別には、なかなか対応しきれない。」というジレンマを抱えて悩んでいるところも少なくありません。「特別な支援をして、みんなと一緒に学習できる。」というのは結果的にそうなることで、「特別な支援によって一人一人が学びの場で輝ける。」ということ、特別支援教育は目指しています。対象の児童生徒が輝き始めれば、様々な問題もいつの間にか薄らいでいくと考えています。子供たち一人一人が輝くために、環境を調整するのか、支援体制を整備するのか、指導法を工夫するのか、その他多様な内容にわたり、特別な支援について一緒に考えさせていただいています。



早期教育相談『かぜくもひろば』

就学前のお子さんを対象に、遊びを通してかかわりの手掛かりをさがします。
一人のお子さんに一人の担当者がつく、小集団での遊びのひろばです。
(お電話でお申し込みいただけます。)



前回の様子・・・

「タンズリンでこんにちは」の歌に合わせて、先生が名前を呼びます♪子供たちはタンズリンで、様々なリズムでお返事しました。

今後の予定・・・

- ・ 8月26日(木)
- ・ 9月17日(金)
- ・ 12月1日(水)
- ・ 1月12日(水)

～地域支援センター職員紹介～



左から

三瓶、鯨岡、志賀、古川、佐藤



上段左から

中島、岡部、齋藤、固山

下段左から

後藤、下山田、吉田

子どもたちのより良い学びを目指して、
悩みや支援方法について一緒に考えていきましょう♪

< ミニセミナーのご案内 ～幼・保・小・中・高校の先生方へ～ >

小・中・高等学校等の先生方への研修支援として、下記の日程で本校を会場に、ミニセミナーを行います。
時間は16:00～16:45です。特別支援教育に関心のある方の参加をお待ちしています！

9月 8日(水)「特別な支援を必要とする児童生徒の理解と対応について
～スクールカウンセラーの視点から～」

10月27日(水)「自立活動について」



お問い合わせ (☎34-3806)